

令和6年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 都立深沢高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成 主任教諭（総務主任兼務）＝事務局長、部員4名 計5名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務主任兼務）、主幹教諭（進路部主任）、主任教諭（生徒指導部主任兼務）主幹教諭（学年主任兼務）主任教諭（総務主任兼務） 計8名

(4) 協議委員の構成

学識経験者（大学教授）、PTA会長、PTA役員2名、近隣中学校長、近隣小学校長、警察、地域住民関係、同窓会関係 計11名

2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和6年6月18日（火） 内部委員8名、協議委員10名（欠席1名）事務局4名
対面による開催

送付書類

- ・発令通知書の交付
- ・令和4年度学校経営報告
- ・令和5年度学校経営計画
- ・事務連絡（委嘱状交付、年間日程など）
- ・意見交換

第2回 令和5年10月10日（木） 内部委員8名、協議委員9名（欠席2名）事務局1名
対面による開催

送付書類

- ・学校要覧
- ・令和6年度授業評価アンケート（案）
- ・令和6年度学校評価アンケート（案）
- ・現状中間報告
- ・意見交換

第3回 令和7年2月18日（火） 内部委員8名 協議委員8名（欠席3名）事務局1名
対面による開催

送付書類

- ・令和6年度授業評価アンケート（結果）
- ・令和6年度学校評価アンケート（結果）
- ・年次報告
- ・意見交換

(2) 評価委員会の開催日時、内容、その他

第1回 令和6年10月10日（木）

第2回 令和7年 2月18日（火）

学校評価の基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討

3. 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

(1) 学校評価の観点

令和6年度 学校経営計画の数値目標と結果の観点で実施する。

(2) 学校経営計画数値目標達成度 調査の時期・対象

- ・ 2月 深沢高校学校経営計画 集計結果
- ・ 2月 深沢高校（全日制課程）数値動向一覧
- ・ 2月 深沢高校各部 報告資料

(3) 主な評価項目

- ・ 学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備等

(4) 評価結果の概要

《R6 学校評価について》

今年度より学校経営計画の集計結果に基づいて

各部（分掌・学年）において総括等を実施しています。

【教務部】

今年度の目標と結果

	〈結果〉
ア 生徒の主体的な学習への取組み評価 80%以上	→ 80%
イ 1、2年生の週末自宅学習時間 2時間以上 80%以上	→ 61%
ウ 生徒の授業満足度 90%以上	→ 87%
エ 国際教育活動参加率 50%以上	→ 5%

- 授業評価の回数・文言の見直しと生徒の振り返り併用による相乗効果があった。
- 夏季講習や朝学習、考査前の学習時間確保等、生徒の学習機会を確保できるようにした。
- 国際教育活動への参加率は、周知の時期がずれてしまったことが要因。周知法を来年度改善する。

【生徒指導部】

今年度の目標と結果

	〈結果〉
ア コンディションレポートの活用率 100%	→ 2%
イ 部活動加入率 80%以上	→ 57%
ウ 各行事の自主的な参加率 90%以上	→ 88%
エ 安全意識の向上 90%以上	→ 88%

- 生徒の情報集約は現行の方法が機能しており、コンディションレポートを利用せずに対応が可能であった。来年度の利用転換へ調整する。
- 部活動加入率は、コロナ以降、生徒の意識も変容している。生徒の多様なニーズに対応するため、同窓会や有志団体も含め、できる限り多くの団体を作り、放課後の活動を行う。
- 行事の参加率は、現在、管理職のリーダーシップにより各行事の見直しと発展的解消を含めた整理統合を実施している。
- 防災・安全教育は、自転車通学者のヘルメット着用を校内で義務化し、警察署と連携している。防災訓練に関しては、消防署と連携している。

【進路指導部】

今年度の目標と結果

	〈結果〉
ア 進路決定率 100%	→ 91%
イ 進路指導満足度 90%以上	→ 81%

ウ インターンシップ及びボランティア活動参加率 100% → 70%

- 進路決定率は、現時点でも一般入試生徒は合否連絡待ちであり、進路活動中である。

(単位：人)

	大学	短期大学	専門学校等	就職
学校選抜型※1	22	1	7	11
総合型選抜等	24	1	21	
一般	1	0	1	
計	47	2	29	11

※1 「学校選抜型合格者」については、校内選考を合格した生徒の人数

※2 その他に起業をする者 1名

- スキルアップ推進校（ジョブ・キャンプ）及び国際ロータリークラブとの連携により、インターンシップ及びボランティア活動の機会提供を今後も実施する。

【総務部】

今年度の目標と結果

〈結果〉

- ア 中学校・塾等への訪問校数 150 校以上 → 128 校（延べ） 85%
- イ 学校説明会への来校者数 600 人以上 → 1,101 人 183.5%
- ウ ホームページの更新 300 回以上 → 887 回

- 学年担任と協力して、1年母校訪問の訪問率を上げる（100%に限りなく近づける）。
- 教員による中学校訪問数を拡充（68校を100校以上へ）する。
- 塾等への訪問数を増やす（20校を100校以上へ）。
- 学校説明会と部活動体験（見学）との連携を強化する。
- 学校説明会で積極的に生徒に参加してもらえた。
- ホームページの更新する体制やシステムを見直す。

【学年】

今年度の目標と結果

〈結果〉

- ア 一日当たりのクラス平均遅刻者数 1名 → 4.2名
- イ 専門家と連携したケース会議 月1回以上 → 月2回
- ウ 地域等との連携評価 90%以上 → 90%

- 定期的な遅刻指導を各学年、行っているが、より根本的な学習活動への取り組みや、生活習慣改善等の指導が本来必要である。その前提として、生徒の現在の状況への問題意識と、教員との間の信頼関係が不可欠である。生徒に問題意識を持たせ、教員が指導を理解するよう改善する。
- 遅刻や無断欠席、授業への態度や取り組み（忘れ物等）、制服着用ルールなどの基本的な学校生活は、学校全体で統一のルールで、組織的に行う必要がある。
- 専門家との連携によるケース会議を月2回実施できて、生徒へのきめ細かな対応ができた。

4. 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・大学でも国際理解への興味が低下している。海外への興味がかつてほど強くない。生徒に英語を始めとす

る語学や海外情勢への興味・関心が薄れては、これからの時代に心配である。しかし、深沢高校では、国内留学という名目で、国内にいる外国人家庭を訪問する活動を実施し、国際理解教育を進めている。

- ・大学でも生徒の部活動加入率低下が問題となっているという意見をいただいた。現在、本校でも部活動加入率低下が問題となっている。そこで、現在、世界遺産研究会（同好会）を新設し、来年度は、eスポーツ研究会を創設するなど、生徒の多様なニーズに応えるために多様な選択肢を設ける。
- ・中学生を指導する際は職員より生徒や学生などの指導は評判がいい。学校説明会では、生徒を積極的に活用することは有用である。中学生や保護者は、生徒からの説明の方が、より熱心に聞いてもらえる。

5. 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・学校がさらに良くなるように、今まで成果が上がっている取組の継続と新たな取組を実践し、地域、保護者との連携を強化して問題・課題の解決を図る。

(2) 学習指導

- ・基礎的な学力定着に重点を置き、そのためのよりよい指導方法の工夫・改善を行う。
- ・スマートスクール端末を積極的に活用し、授業でも家庭学習（課題提出）にも活用する。

(3) 特別活動

- ・より一層の部活動活性化のため生徒に寄り添った指導を行うこと、多角的・多面的に評価する等の方策を工夫し、学校全体が活性化するよう取組む。

(4) 生活指導

- ・コンディションレポートを所掌する組織を編成し、教員も生徒もコンディションレポートの意義を理解し、教育ダッシュボードと併せて、生徒支援に活用していく。
- ・頭髮指導、服装指導等の身だしなみ指導、挨拶、遅刻防止指導は学校全体として継続して行う。

(5) 進路指導

- ・3年間を見通したキャリア教育を実施し、さらに充実させる。1年次に基礎を築き、2年次からの進路指導により力を入れていく。
- ・生徒、保護者が希望する進路実現に学校全体で対応していく。保護者会の参加率を上げて、直接話す機会の確保、TEAMSなどのICTを活用した情報の発信を積極的に行う。そして学校・家庭間の連携をうまくとることができるようにする。

(6) 健康・安全

- ・支援が必要な生徒に対し、特別支援コーディネーター、養護教諭、スクールカウンセラーの校内相談体制の確立を図りより有効な対応を進めていく。

(7) その他

- ・地域への情報発信の方法について、よりよい方法を模索する。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 11人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答
4	7	—	—	—	—

協議委員からもからも学校の良い変化を感じるご意見をいただいた。

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

【実績】 なし 【成果】 なし

8 その他 特記事項なし